

品目分類：野菜，技術分類：栽培技術

熊毛地域における簡易平張施設の野菜栽培体系		情報分類	普及情報
〔要約〕熊毛地域での簡易平張施設を利用した野菜は露地栽培より早期に多収となり，気象災害軽減効果が高く安定生産が可能である。収量や収益性からソラマメを9月上中旬に播種する抑制作型と，オクラを3月中下旬に播種する早熟作型を組合せた栽培体系が有望である。			
熊毛支場園芸研究室		連絡先	0997-22-0007
普及対象地域等	熊毛地域	普及見込面積等	1 ha

〔背景・ねらい〕

熊毛地域では温暖な気候を活かし，パレイショ，ソラマメ，カボチャなどの野菜の生産振興が図られている。しかし，台風や冬場の季節風の被害を受けやすく，露地野菜の生産が不安定である。近年，花き栽培では平張施設の気象災害軽減効果が認められ，導入が拡大しているが，野菜での利用は少ない。そこで低コストな簡易平張施設を利用した野菜の生育特性を解明し，併せて栽培体系を確立する。

〔成果の内容・特徴〕

- 1 簡易平張施設におけるソラマメ，オクラの生育は日射量，温度等の環境特性により葉や茎が大きく，草丈が高くなる（データ略）。
- 2 簡易平張施設でのソラマメは露地栽培よりも収穫開始が早まるとともに，収穫最盛期が露地栽培の3月中下旬に比べ2月，3月上旬へと早進化し増収する（表1，図1）。
- 3 簡易平張施設でのオクラは露地栽培よりも早進化により増収し，単価の高い7月上旬までの収量が多い（図1，図2）。
- 4 オクラの品種「ガリバー」はイボ果の発生が少なく，多収である（図3）。
- 5 簡易平張施設でのソラマメ＋オクラの栽培体系の農業所得は露地栽培に比べて9万円程度増加し，収益性が向上する（表2）。

〔成果の活用面・留意点〕

- 1 簡易平張施設は，直径10～11cmの木柱を3m間隔，柱高2.5mで建て，全面を1.0mm目合いの防虫ネットで被覆するものである。
- 2 施設の設置費用は10a当たり180万円（工事費込み）として収益性を比較した。施設導入にあたっては費用対効果を考慮して，自家施工や補助事業等の活用が望ましい。
- 3 ソラマメの播種期は9月上中旬で，栽植様式は，畦幅125cm，株間40～45cmの2条U字仕立てが適し，摘心は12月上中旬に行う。
- 4 オクラの播種期は3月中下旬でトンネル栽培とし，栽植様式は，畦幅150cm，播種穴間15cm，1穴3株，2条植えが適する。
- 5 簡易平張施設は，霰や雹による損傷やヨトウ類等の虫害，鳥獣害が軽減される。

〔具体的なデータ〕

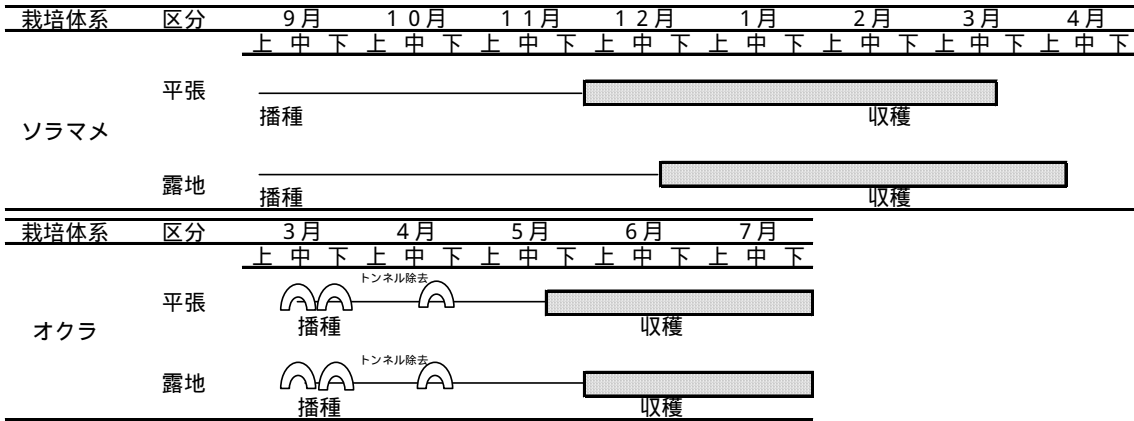


図1 ソラマメとオクラの栽培体系

表1 ソラマメの月別可販収量 (単位: kg/10a)

年次		12月	1月	2月	3月			4月	計	露地対比(%)
					上旬	中旬	下旬			
H19	平張	0	260	1,190	670	150	0	0	2,270	129
	露地	0	160	300	280	360	660	10	1,760	-
H20	平張	20	80	820	1,360	370	0	0	2,650	115
	露地	0	20	280	380	240	1,310	70	2,300	-
H21	平張	80	150	520	1,320	80	0	-	2,150	91
	露地	70	150	470	760	270	630	-	2,350	-

注) H21年は1～3月の気温が高く、摘心時期の早かった平張は着果負担等により減収

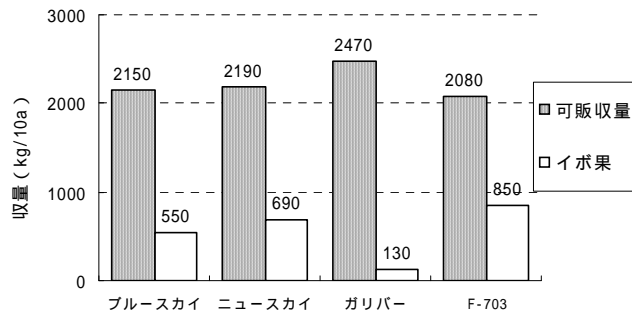
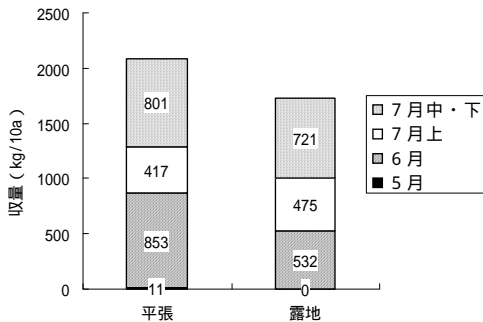


図2 オクラの時期別可販収量 (H20)

図3 オクラの品種別可販およびイボ果収量 (H20)

表2 3か年のソラマメ+オクラ栽培体系の農業所得比較 (単位: 円/10a)

年次	平張			露地		
	ソラマメ	オクラ	計	ソラマメ	オクラ	計
H19	399,266	503,650	902,916	353,518	369,089	722,607
H20	359,007	162,692	521,699	331,507	158,753	490,260
H21	191,532	379,730	571,262	234,785	279,427	514,212
合計	949,805	1,046,072	1,995,877	919,810	807,269	1,727,079

1年当たり農業所得の増加額: (平張1,995,877円 - 露地1,727,079円) / 3年 = 89,599円

注) 強い台風に遭遇した場合は露地栽培の収量は減少し、農業所得の差額が増大する。

〔その他〕

研究課題名: 南西諸島における野菜花きの低コスト耐風施設の高度活用と生産安定技術確立

予算区分: 県単

研究期間: 平成23年度(平成18～22年度)

発表論文等: 平成18～22年度 農業開発総合センター熊毛支場 野菜試験成績書(秋冬作・春夏作)